時事新報

支那兵增發の目的如何

支那政府が我國出兵の報に接して驚愕啻ならず更に兵隊を增發するの計畫中なるよしは既に讀者に報道したる所なるが一昨日芝罘發の電報に據れば李鴻章はいよ〳〵六千の兵を發して朝鮮に向はしめ直に京城に入る筈なりと云ふ曩に牙山に上陸したる支那兵は東學黨鎭壓の爲めと稱して內實は兎も角も名目は自から明白なれども今度の增發は果して何の爲めなるか或は我國の出兵と同樣、人民保護の爲めにてもあらんには他人の與り知らざる所なれども我輩は昨今の事情に照して其目的何れの邊に在るや大に疑なきを得ず聞く所に據れば日本兵の京城に入らんとするや彼の李氏の代表者とも云ふべき袁世凱は大に狼狽して朝鮮政府の官吏をして其入京を止めしめんと試みたれども目的を達せざるより更に親から大鳥公使に向て日本兵の撤去を要求したりと云ふ思ふに我公使は必ず一言の下に彼の要求を拒絕したるみとならん我輩の敢て疑はざる所なれども去るにても彼は如何なる理由を以て日本の援兵を要求したるか我輩の不審に堪へざる所なり或は朝鮮官吏の口吻に倣らひ東學黨は支那の威力を以て全く鎭定したり朝鮮の內地は最早や安全にして駐兵の必要なしとの口實を以てしたるみとならんか日本の出兵は固より人民保護の爲めにして他に挾む所あるに非ずと雖も其進退は我自由にして他の干涉を許す可きに非ず果して自から駐兵の必要なしと認むるときは自から撤去するみともあり可し彼等が漫りに喙を容るゝが如き入らざるの話とみそ云ふ可きのみ況んや他の援兵を求めながら自から兵を增發するとは前後不揃の始末にして我輩はまず〳〵彼の擧動を疑はざるを得ず抑も朝鮮は獨立自主の國にして其事實は文明諸國の等しく認むる所なれども支那人は中國所屬の邦と稱して之を屬國視し或は漫に其國交たる人を捕へて本國に拘留し或は其內政に干涉するなど年來、不法の擧動少なからず現に李氏の如きも過般の出兵に就ては屬邦の內亂鎭壓の爲め云々と他人に向て公言したるみともあるよしなれば或は今度の機會に大兵を發して其威力を以て朝鮮の主權を蹂躪し眞實屬邦たらしめんとの實を行はんとするの計畫にてもあらんか支那人の無法なる是種の事なきを期す可らずと雖も今の文明世界の輿論は決して斯る暴擧を許さゞるのみか現に朝鮮とは隣交唇齒の關係ある條約國もありて其陸海の軍隊は既に準備を整へて自國の利害を保護するに怠らざるのみか萬一の場合には他に對して隣國の主權を擁護するも正當防禦の手段として已むを得ざるの處置にみるべきのみなれば若しも支那人が兵力を以て兼ての野心を逞ふせんとするには其力よく他國の陸海軍力を壓服し併せて文明世界の輿論を制するに非ざれば不可なり彼に果して其決心ありや又その實力ありや我輩の覺束なく思ふ所なり去れば支那兵增發の目的何れに在るや知る可らずと雖も或は他の援兵を要求して意の如くならざるに於て大に兵隊を發し其兵力を後盾として更に要求する所あらんとするの計畫ならんかなれども恰も是れ小兒を嚇すの筆法にして苟も彼の國情兵情を詳にするものは其虛勢に嚇さるゝものはある可らず蓋し大膽なるが如く臆病なるが如く果斷なるが如く因循なるが如く曖昧模稜の間に空しく時日を經過して他をして倦厭懊惱の情に堪へざらしめ以て有耶無耶の間に利を占むるは支那人固有の手段なれども今回は然らず恰も平素の反對に出で少なからざる兵員を發して京城內數歩の間に敵愾の情殆んど禁ず可らざる他の軍隊と相對峙せしむるみとなれば機一瞬、間髮を容れず固有の手段も施すに術なくして勢窮し形露はるゝに至れば止むを得ず最後の窮手段に出でゝ自から恥辱を取らざるを得ず明白の成行にして此一事、以て彼等の狼狽を知るに足る可し我輩は餘所ながら支那人の爲めに謀りて竊に氣の毒に堪へざるものなり

雜報

○敍任辭令

朝鮮國在勤ヲ命ス（六月二十一日）

公使館三等書記官　日置益
農商務部顧問　大森房吉
農商務部顧問兼水産局長　吉田有年

東京府及神奈川群馬縣下ヘ出張ヲ命ス
農商務部顧問兼水産局長

東京府及神奈川群馬縣下ヘ出張ヲ命ス（六月二十一日）
農商務部顧問兼水産局長

海軍省參事官兼水産局長

海軍省參事官兼水産局長

海軍省參事官